

今回の衆院選に対する

みどり・山梨の政党支持についての方針

みどり・山梨は、今回の衆院選では選挙区・比例区とも、「立憲民主党」「日本共産党」「社会民主党」の3党を支持する。無所属の立候補者は支持しない。

よって、山梨選挙区1区においては、日本共産党の宮内現候補、2区においては、立憲民主党の小林弘幸候補及び日本共産党の大久保令子候補を支持する。

なお、みどり・山梨のメンバー個々人の政党支持活動・投票行為は、みどり・山梨が支持する上記3党の枠の中で、それぞれ個人の自主性にまかせるものとする。

このような方針に至ったのは、これまで私たちみどり・山梨が、衆院選に向け、市民と野党(民進党・日本共産党・社会民主党・自由党)連合で、憲法無視、対米従属、国政の私物化という安倍政権を倒すことに、心を同じくする市民諸団体・諸政党と取り組んできたからである。

野党の連合(統一候補の擁立)は、「希望の党」の出現によって、もろくも民進党が崩れ、自由党も横滑りして、体を成さないものになった。そういう中で、枝野幸男氏が発起人となって「立憲民主党」が公示間際に設立された。

立憲民主党の政治理念は、その設立の経緯からも分かるように、私たちが市民野党連合で唱えてきた政治理念と一致するものであると判断し、みどり・山梨の支持政党の一つとして、従来からの日本共産党・社会民主党に立憲民主党を加えた。

「希望の党」(民進党から転出していった候補者も含め)は、その政策理念を見る限り、安倍政権の補完勢力でしかないことは明らかであり、これは支持しない。また、無所属で立候補した者についても、立憲民主党という受け皿が出来たにもかかわらず、これに与することなく、無所属で行くということであるから、これまでの市民野党連合の政治理念とは違うという判断で、これも支持しない。

2017年10月14日

みどり・山梨
代表野沢今朝幸